

東京2020オリンピックピック聖火リレー

聖火がつないだ 復興へと続く希望の道



今夏、開催が予定されている国際的スポーツの祭典、「東京2020オリンピック」。そのシンボルである聖火が、5月6日、益城町にやってきました。

聖火リレーが熊本県で行

われたのは、57年ぶりのこと。もちろん益城町で行われたのは初めてのことで。まさに、一生に一度見る機会があるかどうかという、このイベントを取材しました。



上/アンカーを務めた、熊本県実行委員会公募ランナーの亀山ほのかさん(広崎4町内)。沿道の応援に笑顔で応えていました

右/聖火が点火され、これから聖火リレーのスタート。第一走者は、町復興大使でプロゴルファーの永野竜太郎さんです。特設ステージの赤色のフロアが全身に映り、聖火リレーへの熱意が伝わってくるようです

